

Title	昭和四十三年度史学科卒業論文題目；大学院修士課程卒業論文題目
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1969
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.41, No.4 (1969. 3) ,p.130(628)- 133(631)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19690300-0133

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

北上市教育委員会各位に、御礼を申し上げる次第です。

乙川博士

高坂愛子 記

大野 操

莊 和子 「孝」についての史的考察

田村 静子 キリスト教受容のためのイエズス会学校内での教育方法について

藤村 東男 注口土器の研究
―特に大洞系注口土器の製作技術を中心として―

昭和四十三年度史学科卒業論文題目

国史専攻

藤巻 光世 平戸英国商館の東インド貿易史上の位置 ―リチャード・コックスの考えを中心に―

平松 瞳 キリスト教の社会活動の与えた影響 ―女性の社会的地位について―

井上 節子 高槻における高山右近

石田 誠吾 飛騨「梅村騒動」について
―明治維新との関連において―

磯部まさ子 水平社の創立について
見城真智子 明治社会主義思想家の一考察
―片山潜と「平民」時代―

榊野 玲子 自由民権運動における都市知識人の組織論

森本 敬子 中世大山崎油神人の活動
野村真由美 徳川家光時代のキリシタン宗門の迫害についての一考察

佐々木香枝 中江兆民の自由民権思想とその実践

大石美紀子 縄文時代の貝輪
置塩 康子 「老松堂日本行録」にあらわれた室町時代の瀬戸内海海賊の一考察

鈴木道之助 関東・甲信越地方の狩猟具の研究
―縄文文化前期末葉以後の石鏃を中心として―

浅越 史子 幕末における岡山藩の兵制改革と財政問題

蓮池貴代子 土佐藩刑罰に見られる幕府法の影響
平出 勲 近世における十日町織物の問屋制度と農村の展開

飯塚 輝子 幕末期洋学の性格に関する一考察
―諸藩における洋学採用を中心として―

岩垂 静子 江戸の下肥取引について
―その値下げ運動を中心に―

兼坂さくら 和算書を通して見た江戸初期の社会

河合 里美 杉本茂十郎と菱垣廻船積仲間

河村 幸子 領主的流通機構と株仲間

近藤あつ子 大塩騒動に関する一考察

森田 晶子 岩倉具視の思想

中田 待子 一和宮降嫁事件を中心とした復古策—

新町 洋明 太政官札の流通過程の研究

須川あや子 高杉晋作の尊攘運動に関する思想

鈴木 伸子 寛政改革における勘定書御用達について

土屋 文子 実学思想上に於ける司馬江漢

佐賀藩に於ける「葉隠」の成立とその思想構造について

横山 悦子 兵庫開港問題

—慶応三年の薩摩藩の動きを中心として—

舟越 香郎 皇極紀の編纂過程 —天象災異瑞祥記事を通じて—

川崎 晃 山部氏・山部の研究

関 るり子 実朝の生活と詠歌をめぐって

富永 郁子 古事記とワニ氏の関連性についての一考察

鈴木 令子 利休の妙喜庵囲

河上 許子 古代土地経営 —賃租制について—

柳下 知子 撰関政治の成立 —安和の変とその周辺—

西脇三江子 慈円と愚管抄の思想

沢口 柳 アヅミ氏に関する一考察

北村美奈子 北条実時と金沢称名寺について

中島 弘子 延喜の荘園整理令について

石沢 彰夫 鎌倉初期に於ける臨濟禅の問題

—栄西の歴史的評価を中心として—

丸山 敏夫 一休宗純に関する一考察

深田美穂子 初期浄土真宗受容者層の性格について

—東国における—

江原 和子 町衆と惣町結合について

池上とも弥 神社を中心とした祭祀組織宮座について

糟屋 純子 平安時代末期の千葉氏について

—その領主制を中心に—

北島 綾子 近江国菅浦荘と村落の自治について

長原 京子 山城国一揆における国人層について

西井 直良 後北条氏の天文一九年の税制改革について

佐々木光子 古代末期における源氏と東国

齊藤公美子 検地帳登録人の性格

—蒲生郡今在家村検地帳を中心として—

清水 行子 鎌倉時代における女性の地位

高橋 勉 織田政権と長島一向一揆

武岡美代子 鎌倉幕府成立時期に関する一考察

田中 道子 宋銭の輸入と流通

—鎌倉時代前半期を中心として—

塚本 能子 鎌倉時代の形罰について

—式目及び追加法に現われた武家主義について—

山崎 勇 陸奥国好嶋庄における領主制について

湯浅 幸子 戦国大名今川氏の分国支配

—遠州犬居城主天野氏を中心として—

東洋史専攻

鈴木 明緒 中国における飲茶の歴史 — 唐代を中心として —

坂本 恵 禅宗の起源について

桜井志のぶ 南詔の仏教

深沢 俊子 The Influence of the West on the Government in Thailand

田島 正士 敦煌をめぐる唐・吐蕃関係

三宅 秀幸 宋代都市経済史 — 茶の専売と関連して —

橋本 和子 二〇紀世初め朝鮮における教育運動

前田 燁子 変法期における不纏足運動と織工業

森田 善太 淮軍の登場における外庄の影響

上野 邦治 ラップルズと自由港シンガポール

岡本 孝之 長江下流域の石器時代文化

佐々木 庸 「公孫竜子」試釈

上林 暁子 古代インドのチャンドーラについての一考察

林 弘子 法勅に見られるアショールカ王

吉川 瑠美 匈奴の食物

小島 曜子 若木 — 樹木崇拜について —

長谷川 彰子 道家思想の道についての考察

日比 佳江 纏足解放運動

赤尾 楓 開封におけるユダヤ集団

小野 久子 パルティア史の研究

太田 瑞緒 一神教を中心とした宗教とその風土性

堀田 秀子 サーマーン朝文化の性格とその意義

禿 猛維 Al-Birūnī とインド誌

坂本 勉 モンゴル帝国における必闡赤 — 漠北時代を中心として —

西洋史専攻

遠藤 瑛子 アルフォンソ体制の崩壊 — スペイン市民戦争の遠因 —

藤野 茂樹 ヴィシー政権の性格とその政策

藤田美知子 カプリヴィの諸政策

舟越 茉莉 チャーチスト運動崩壊の原因

長谷山咲子 第一次大戦勃発前夜のイギリス外交政策

原田かほる リンカーンの奴隷解放宣言の目的

原田 勝子 ジャクソニアン・デモクラシーの担い手について

早速 弥生 ルネサンス期の経済的背景

堀 美弥子 アウグストウス帝のエジプト政策

一瀬美樹子 アンタンダンの起源について

犬塚美保子 レヴェラーズ運動について

石田紀代子 第一次大戦勃発とドイツ社会民主党

角谷 純子 メギッドの戦

菅 隆子 — エジプト新帝国のパレスティナ支配について —

菅 敬子 英国封建制におけるバロニーの貢献

羯磨 敬子 エラスムスのキリスト教的ヒューマニズムについて

慶田 博美 ヒトラーの外交政策

木谷 潤二 東ゴート王 Theodoric の史的考察

小向 妙子 古代エジプトのファラオの神的權威について

久村 京子 初期アメリカ南部植民の性格

松本 和子 コンスタンティヌス帝とキリスト教の問題

内藤三知子 カニング自由主義外交の本質

中坪 和恵 アメリカ革新主義運動について

二里木 明 ヴィットテ体制とツァーリズム

大圃 優子 イギリスの第一次農業革命について

大木 節子 トロイア第七市の発掘について

大角悠紀子 アングロ・ノルマン期の一考察

大竹 裕 プロイセン農業改革の性格

大津 ゆり ヘレニズム時代のランプについて

齊藤 奎子 米西戦争前夜のキューバ問題

齊藤 充子 アル・ミナに於けるギリシア人の遺跡

志賀美智子 ヴイクトリア時代のインド近代化

重松 泰子 デイトトリヒ・ボンヘッファーの思想について

新谷むつみ スペインの没落について—オリバレスの政策とその

影響

高木香代子 イギリス産業革命期における社会構造変動

高橋 正 七年戦争から印紙条例一揆

—中下層民と農民の動き—

竹下 安子 ジェファソンの民主主義思想

玉木 泰一 バラ戦争と十五世紀イギリス国家の性格

豊田 岩男 アメリカ膨脹主義の質的転換

—マニフェスト・デステイニー—

柘植 直子 シュトレーゼマンとワイマル共和国

辻 千鶴子 ドイツ社会民主党 —階級政党から国民政党へ—

上野 幸恵 ニューディール期における社会保障制度の成立

白井 尚子 エジプト古王国の絶対専制政治におけるピラミッドの意義

の意義

和智 匡雄 領邦制の展開と帝国ラント政策

若島 玲子 米西戦争の原因について

渡辺 彰子 ルイ十五世統治下における高等法院の抵抗

山田 玲子 ナポレオン政権の成立について

山室 道子 普仏戦争の原因について

吉橋瑠美子 ペトラルカの古典の捉え方

大学院修士課程卒業論文題目

国史専攻

出雲国造の一試論

—古代出雲の服属に関しての考察—

東洋史専攻

「説林篇」考証

唐代貴族政治崩壊過程の側面 —黠隴助の反乱を中心として—

高山 方尚

西洋史専攻

「文化」と「文明」の基本的性格 —比較文化史的考察—

鈴木 武

ピューリタニズムの起源 —J・トリネリユードの見解をめぐつて—

有富 英洋

十九世紀イギリス実証主義運動に関する一考察

歴史家としてのベエダ

テマ制度の成立

上山 雄治

森 淳子

高橋 紀子

矢部 荘